

### 第3回 大洲市と「大洲の環境をよくする連絡協議会」の懇談会会議録

日 時 平成20年10月30日(木) 午後2:00～午後4:30

場 所 大洲市役所 2階大ホール

参加者(大洲市)佐伯市民福祉部長、岡村保険環境課長、谷本主幹、井上専門員、  
神田係長、青木下水道課長、城戸補佐(7名)

(協議会)三好、高松(司会)、加戸、武井、久保、前田、木下、藤岡(周)、藤岡(貴)、  
城戸、土井、松井、弓達、太田(14名)

(市会議員)武田、上田、福積、山本、有友、中野(6名)

(参加者合計 27名)

#### 議 題

##### 1 昨年度の懇談会以降の大洲市の検討結果について

(協議会)昨年度の懇談会で大洲市が検討するとされた事項について、その後の検討結果  
について説明をしてください。

議事録をホームページに載せることを検討する。

廃プラ分別収集、来年度(H20年度)から実施の方向で検討する。

資源ごみ分別推進のため、指定ごみ袋以外の袋でも出せる方法も含めて検討する。

ごみ減量は市の財政にプラスマイナスゼロかプラスになるようなので、金額面など資料を  
集めて検討する。

ごみ大幅削減について削減量や費用削減についての数値目標を立てることについても  
検討させてほしい。

蛍光灯等の水銀ごみも廃プラ分別収集と同時に行う方法で検討する。

総合福祉センターの会議室など照明・エアコンのスイッチの所に節電・省エネの小さなシ  
ールを貼っているだけで冷房が効きすぎていることが度々ある。

「冷房は28 弱でも温度が下がるときはスイッチをOFF ONしましょう」

上記のような掲示をドアのガラスに貼ったらどうか、福祉センターと協議する。

〔ごみ収集量の推移について大洲市よりの説明 (省略)〕

(大洲市) の議事録のホームページ掲載について

情報公開の時代でありますから、GCOさんのホームページとリンクさせる方法で  
掲載するようにはどうかと検討しておりますので、掲載方法の詳細については  
別途協議させていただきたいと考えています。

～ 及び の廃プラ分別収集については、関連がありますので、一括して回答  
いたします。

まず、「廃プラ分別収集を平成20年度から実施の方向で検討する」についてで

す。昨年度、実施の方向で取り組んでおりましたが、私ども勉強不足で申訳ないのですが、廃プラ分別収集を行う上で最善の方法として容器包装リサイクル協会への引渡を考えておりました。そのためには容器包装の分別収集計画の作成と保管施設の変更が必要であることが分かり、平成20年度からの実施の取り組みが出来ませんでした。従って、廃プラ分別収集に代わるものとして、ペットボトルのキャップ(これまでは燃やすゴミ)の回収を来年度から実施したいと考えております。「ペットボトルのキャップ 400 個で、3,150gの CO2 が発生する」といわれており、多少なりとも CO2 を削減出来るかと思えます。その後の計画ですが、広域での廃プラ収集・処理の構想もありますので、それも含めて検討させていただきたいと考えております。廃プラ等全般(容器包装、以外を含めて)資源ごみとして収集することが可能となる見込みで、環境センターの延命化にもつながると思われれます。時期については、平成23年度からの実施予定であり、来年の今頃には詳細をご説明出来るかと思えます。資源ごみの指定ごみ袋以外での排出、蛍光灯の分別収集、についても、廃プラ分別収集に合わせて実施する方向で検討しています。また、ごみ減量による財政効果 ごみ減量と費用削減の数値目標、についても、廃プラ分別収集の検討に合わせて作成したいと考えております。

総合福祉センターのエアコンのスイッチに「冷房温度28」「暖房温度20」のシールを貼って、省エネに努めており、灯油の消費量も減っているが、本日配布のような掲示を壁に貼って更に啓発に努めていきたい。

(協議会) 廃プラ分別収集はすぐにできないとのことですが、代りにキャップを集めるということだけで済ませるといいますか。

(大洲市)今年から始めたいということで検討をしておりましたが、分別収集計画の変更が間に合わないということで、今年度できなかった。その流れの中で広域のごみ処理関係の話が出て来たので、廃プラの分別収集の再検討を行っていきます。たちまち21年度からペットボトルのキャップを収集しようということです。

(協議会)ペットボトルとキャップは別々に集めるということですか。

(大洲市)キャップははずして、ペットボトルと同じ袋に入れたいと考えています。

(協議会)するとペットボトルのキャップをはずさないで入れる人が出て来るのでは。

(大洲市)その点はごみカレンダーなどで周知したい。

(協議会) キャップは何故はずさないといけないか、説明があると納得がいくと思うのでPRに努めていただきたい。

(大洲市) 容器リサイクル協会の分別収集とは別のシステムで広域的なごみ処理の計画があるので、23年度を目途に検討をしていきたいと考えております。

(協議会) 廃プラは容器包装とその他プラの2種に分けて、集めるということですか。

(大洲市) 20年度に始めようかと思っていたのは、容器包装リサイクル協会に引渡す分は「P」マークのついたプラを考えていました。ところがそうなると一般家庭の方が「P」はどれなんだろうかと分かりにくいのではないかという問題もあります。今回考えているのはPマークなどとは関わりなく、プラスチック全般ということで考えています。

(協議会) 容器包装を分けなくて廃プラ全部をまとめて収集し、その処理は業者に委託するということですか。

(大洲市) そうです。

しかし、詳しいことは決まっていません。補足ですがプラスチックのリサイクルの方法については議員さんの質問にもありましたが、サーマルリサイクルの方が有利ではないかという話もあり、国の方でもサーマルリサイクルもプラスチックリサイクルの一つとして認めています。

(協議会) 廃プラは今は燃やすごみになっているが、これを資源ごみとして回収することになれば市民への周知ということ考えるとすごい期間がかかると思います。廃プラ全体を資源ごみ化する計画があり、その一つの段階としてペットボトルのキャップを回収するということを早めに市民に知らせる方がよいのではないのでしょうか。その方が市民は理解しやすく、協力を得られるのではないのでしょうか。

(大洲市) 23年度からの計画です。早ければ22年10月からということもあります。

(協議会) 一般にごみにどのように取り組んでいるかでその町の環境問題についてのレベルが分かります。「大洲市は、まだこれも一緒なのね。」などと外から来た人に言われます。町のイメージダウンになってはいけないので早急に進めていただきたいものです。市民も一緒に参加し協力して行くための懇談会だと思っているので、よろしくお願いいたします。

(協議会) 前回か前々回、雑紙(ざつがみ)を資源ごみとしてどのようにして出すか示していただき、広報にも掲載されましたがリサイクルする紙は増えているのでしょうか。収集量の資料のどこを見れば分るのでしょうか。

(大洲市) ごみ収集量の新聞紙等が資源紙です。19年度は13年度より減っています(7.2%)18年度より19年度の方が減っています。

(協議会) このようにして出せば紙はリサイクルになりますと分りやすくPRし、定期的に広報に出していただくとよいと思います。結構紙は燃やすものと考え、リサイクルごみになることを知らない人が多いのです。新聞紙は別ですけれど。そういう頁を分かりやすく、大きく出していただきたい。

(大洲市) 雑紙(ざつがみ)が出てないように思います。広報で啓発に努めたい。

(協議会) 今年の4月から10月までの広報にはごみを分別しましょうとか、ごみを減らしましょうという話は出ていない。ごみを減らすと去年の武井さんのプレゼンテーションであったように市の財政支出が年間3,900万円減るという試算もあります。広報にごみ減量のPRをやってください。できれば今日の懇談会のことも書いてください。

(大洲市) 広報11月号にはごみ分別方法を掲載するようにしています。

(協議会) 少なくとも3ヵ月に1回は出すようにしてほしい。

(協議会) 大洲市は資源紙の処理をどうしていますか。

(大洲市) 機密文書の処理について以前は環境センターで焼却していましたが、懇談会でご意見をいただき、今は八幡浜の製紙工場へ持ち込み、資源化しています。

(協議会) 普通紙は。

(大洲市) 全てリサイクルし、シュレッダーごみもクリーンセンターへ送ってリサイクルしています。

## **2 廃プラ分別収集について**

(司 会) この件は前項で話が済みましたので次へ移ります。

### 3 不法投棄防止対策について

(協議会)八幡浜市では監視カメラを設置し大きな効果を挙げているとのことですが、大洲市での取り組みについて説明してください。

(大洲市)不法投棄防止については、看板を設置しています。不法投棄をする人が判明する場合には連絡し撤去するよう指導しています。悪質な場合には、警察に通報しております。監視カメラの設置は悪質な不法投棄が頻繁にでるような箇所があれば検討しますが、現時点で設置の予定はございません。

(協議会)去年はどれくらいありましたか？

(大洲市)昨年度は5件ほどあり、警察と協力して対処しました。

(協議会)以前は大量に不法投棄が行われている場所があって、530(ごみゼロ)の日に市役所やJCの人たちで回収作業が行われていましたが、今はどうなんでしょうか。

(協議会)以前よりは少なくなっているようです。

(大洲市)資源ごみの価格が、上がったからではないでしょうか。最近は鉄くずも3分の1位に下がったので、また不法投棄が増えるかも知れません。

(協議会)今年のごみゼロの時も市役所の人たちが大量不法投棄の場所へ行ってもらったと思うんですがね。

(大洲市)去年と今年に関しては大量不法投棄の場所も無かったので市内のごみ清掃の方へ回っていただきました。

- 休憩 -

(司会)新しい資料が追加されました。広報大洲11月号です。20頁の下の段に「今一度！ごみの排出を見直しましょう！」という記事が出ています。

### 4 地球温暖化対策実行計画について

(協議会)この計画では、市役所その他市の関連施設でCO<sub>2</sub>を3%削減し、家庭ごみの焼却による環境センターからのCO<sub>2</sub>を5.2%減らし、全体として平成18年度比4%削減を平成24年度の目標としています。この燃やすごみ5.2%減は、この間に人口が4%減と予測されているため、1人当たりのごみ減量は1.24%減に過ぎませ

ん。あまりにレベルが低すぎます。今後廃プラ分別、それに伴う可燃ごみ減量を見込むと更に大きな数字になるはずです。

ちなみに松山市は人口が増えているのに、京都議定書と同じく、CO<sub>2</sub>の排出を家庭や事業所を含め松山市全体で、対平成2年(1990)度比平成24年(2012)度6%減、平成17年度比で18%減を計画しています。

大洲市も実行計画を見直し、少なくとも可燃ごみ20%減位の目標を立てていただきたいものです。

(大洲市)本市におきましては、平成13年度に(旧)大洲市地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素の削減に取り組んでおりましたが、平成18年度で計画年次が終了したことにより、本年3月に新しく計画を策定いたしました。

「大洲市一般廃棄物処理基本計画」では、平成12年度から平成16年度のごみ処理実績に基づくごみ量の将来推計を行っており、この中では環境センターで焼却処理される家庭系可燃ごみ量推計値を基に削減目標を求めています。

「大洲市一般廃棄物処理基本計画」の将来推計においては、ごみ減量の施策なしの場合には、人口が減になっても1人当たりのごみ量の推計値が減ならず若干増加する予測結果となっていますので、人口が4%減になるからといって、ごみ量も4%減ることにはなりません。

松山市の実行計画でのごみ減量の削減目標は、平成16年度実績617g/人・日で平成22年度目標値を612g/人・日とし5gの減になっており、本市の場合は、平成18年度実績442.1g/人・日で平成24年度目標値を436.6g/人・日で5.5gの減で計画をしており、松山市と同等であります。(大洲市地球温暖化対策実行計画 P27 参照)本市の地球温暖化対策実行計画は本年3月に策定したばかりでありますので、当面は見直す予定はございません。

(協議会)小さい頃からの環境に対する意識付けが必要でないでしょうか。

(大洲市)学校でもごみ問題などを学習しています。昨年度2校に私たちが行きました。学校により、市に依頼があったり、環境センターに見学に行ったりと様々です。

(協議会)小学生にごみの勉強をしてもらうのは、要望があったらやりますよという話でしたが、大洲市として、ごみを減らしたい、財政状態から言っても減らさなければならぬんだということで教育委員会へ申し入れて、各学校の何年生は、年1回はごみの学習をするように保険環境課の方からお願いするということではできないでしょうか。さらに学校だけでなく、みんなでごみを減らしましょうということを老人会その他地域の組織を通じて働きかけていただきたい。

(大洲市)環境センターの見学など4月、5月に集中することもありますし、担当者が1人2人で手が回らないということもありますが、できるだけ要望があるときに行くようにしています。

(協議会)こういうことは、何も市の職員だけでやらなくてはいけないわけではありません。例えばGCOとかコープえひめなどからボランティアを募集して、子供のごみ学習をしてもらったらと思いますが、いかがでしょうか。

(大洲市)今後はGCOの方のご協力もお願いします。

(協議会)私たちが協力したいと思います。何も4月、5月だけでなく、年間を通じて行っていけばよいのでは。

(大洲市)教育委員会の方で何年生かでごみの学習をすることになっているようです。

(協議会)環境センターの見学は小学生の間に必ず1回行くということになっているのではないのですかね。

(大洲市)小学3、4年でごみや環境のお勉強をしているようなんです。その中で環境センターの見学を希望する所もありますし、バラバラなのです。

(協議会)いずれにせよ、市の方から民間や学校の方へ働きかけていただきたらと思います。

(司 会)私の長女が小学5年生でして、去年ごみに関してどうだ、こうだと私も説教を受けた記憶があります。学校でやっていただくことが間違いなく、市民の意識づけに効果があるようです。

(協議会)GCOではこれまで小学校での環境学習をやって来た実績があります。関心を持って聴いてくれている生徒さんを見ていると、これは見込みがあるなと思います。帰ってお父さんお母さんに話をする事で伝わって行くと思います。これをもつと市が積極的にやったらと思います。

(司 会)教育ということになると課をまたいだ問題となりますので、お答えは難しいかと思いますがいかがでしょうか。

(大洲市) ごみの学習の時間には、出来るだけ協力して行きたいと考えております。

(協議会)大洲市のホームページで地球温暖化対策実行計画が出ているということでした。市役所の中では節電など積極的な活動が行われているようですが、市民への働きかけはこの連絡協議会もありますので市と協力して何かできればいいなと考えています。それで「ストップ温暖化松山」のコピーをお渡ししていますが、この概要版の他に事業所の手引きがカラーで作られ、すごい取り組みだなと感じています。CO<sub>2</sub>を市全体で平成17年度比18%減を目指そうという時に大洲市はごみを5.2%とか4%という段階です。松山市は事業所、家庭を含めての目標です。毎年この懇談会を開いていて、もっともっと私たちも一緒になって何かできないかなといつも痛感するのですが、雑紙収集の他、色んな面で進めていければと思います。よろしくお願いします。

(協議会)大洲市はソフト的取り組みが3%ごみ減量が5.2%で平均4%CO<sub>2</sub>を減らすというのが目標ですね。私は節電などソフト的取り組みはよくやっちらっしゃると思います。しかし松山市のような市民への呼びかけという面では非常に劣っていると思います。5.2%ごみ減1人当たりでは1.24%減ですが、これも24年度までには廃プラ分別収集をやりますよね。24年度までのCO<sub>2</sub>排出削減4%は低いなと思います。廃プラ分別を加えた高い目標に作り直してほしいものです。

(大洲市)今回の実行計画は基本的に行政を対象としています。全市的な取り組みは今後の課題として残っています。今後ご意見を伺いながら作成・実行したいと考えています。ごみ減量による5.2%はごみ処理基本計画の数値を持って来たので、大洲市の家庭ごみを入れた計画とでは、松山の全市的な計画と若干違いますので、松山市のような計画を立てるときは、皆様のご意見を伺いながら、そこらも合わせて決めて行きたいと考えます。

(協議会)今度の実行計画では市の施設だけでなく環境センターも入れなくてはならないことになっています。そうすると当然ごみのことが出て来ます。これは廃プラ分別をするまでの数値で、廃プラ分別をする時はどれだけごみを減らせるかその目標は立てることができますよね。どこで廃プラを処理するかは別としてですね。これは実行計画でも第1次の計画ですよと説明をつけて広報に出すとか、何らかの方法を皆でごみを減らしましょう、ということをやしてほしい。

(大洲市)環境センターでは5.2%というのが一般廃棄物処理計画の目標とする数値を現在は単純にあげさせていただいております。全市的な取り組みをするのであれば、そこらを入れてごみ量を何%減らしてという計画もまた今後の課題であります。これはあくまでも行政的な取り組みで環境センターが5.2%を20%にするという目標は立てられませんので一般廃棄物処理計画の数値を現在は使っています。



(協議会)これは廃プラのことが決まったら作り直すのですか。

(大洲市)それは一般廃棄物処理計画の方を作り直すということです。

(協議会)それに基づいてCO<sub>2</sub>の排出が変わる。23年までには見直しが行われるということですね。

(大洲市)そうです。

#### **5 旧大洲市の温暖化対策の達成状況について**

(協議会)旧大洲市の温暖化対策実行計画の平成12年度比平成18年度の3%削減計画の達成状況について説明してください。

(大洲市)全体として、平成12年度比0.05%の微増となっています。増加している主なものを挙げますと、車以外のガソリン・車以外の軽油については、市道・市有地等の草刈、市道の維持補修などの機械類の使用によるものであり、必要最小限の使用です。電気使用量については、合併による本庁職員増に伴うOA機器類の増加が主な原因と考えています。ガソリン使用量については、基準年(平成12年度)比7.7%増となっていますが合併1年後の平成18年度に公用車の管理形態が変化し支所にて管理した公用車についても本庁一括管理となったためと考えています。

(協議会)要するに旧大洲市での温暖化対策実行計画はCO<sub>2</sub>を平成2年度比平成18年に3%減らしましょうと言っていたのが、0.05%の増になった、そういうことですね。

(大洲市)そうです。

(協議会)これは行政施設に限定されている数値ですか。一般ではないのですね。環境センターも入ってないのですね。

(大洲市)そうです。

#### **6 浄化槽法に基づく事務に関して、県から市への権限移譲の時期・対応について**

(協議会)浄化槽法に基づく事務が愛媛県から権限移譲されますが、大洲市へ移譲される時期及び対応について説明していただきたい。

(大洲市)浄化槽事務の移譲については、次年度より大洲市に移譲されます。対応については、愛媛県の説明会がまだ実施されておらず、11月開催に向け現在日程調整中ですが、八幡浜保健所が行っている事務と同じように対応することになります。

(協議会)担当課は決まっているのですか？

(大洲市)技術的な問題もあるので、保険環境課だけでの対応は困難であるため、現在、人事課と協議調整中です。

(協議会)無管理の浄化槽もあり、権限移譲の際は管理センターも色々と連携し協力させて頂きたいのですがどうですか。

(大洲市)地方局との打合せを含め、管理センターにも協力をお願いします。

## 7 下水道について

(協議会)下水道工事計画の全体の経費と大洲市の負担額及び使用世帯、人口等について説明してください。

(大洲市)全体計画は、肱南・肱北・新谷市街地を含め 773ha であり、全体事業費は 454 億円と試算しています。平成 19 年度末での投資済み額は 146 億円です。全体の計画人口は 25,900 人で、費用負担は、国及び地方交付税交付金が 70%で、残りの 30%が大洲市の負担となります。したがって 454 億円を 25,900 人で割ると 1 人当たり約 175 万円で、この 30%ですので、大洲市の 1 人当たりの負担額は 53 万円となります。

使用世帯、人口については平成 20 年 9 月末で、肱南地区は 1,308 世帯 3,100 人、肱北地区は 15 世帯 30 人がご使用頂いております。この中には事業所・学校等が含まれておりませんので、実質的な使用者はもっと多いと考えております。

(協議会)大洲市の 1 人当たりの負担額が 50 万円以上とのことですが、実際はもっと多いのではないですか？

(大洲市)現在は初期投資の段階なので負担額は多くなっていますが、最終的には先に述べた金額になります。

(協議会)下水道整備地区の市民は税金で 1 人当たり 175 万円、うち市から 50 万円以上であるが、浄化槽補助金は 5 人槽で 30 万円ほどで、浄化槽設置者と不公平になっていると思いますがどうですか？

(大洲市) 公共下水道の供用開始区域については、 $\text{m}^3$ 当たり370円の受益者負担金を徴収しています。また、平成20年4月徴収分から下水道使用料金の値上げをしました。国からも月20 $\text{m}^3$ の使用では3,000円ぐらいは徴収すべきだと言われますが、実際には難しいです。今は20 $\text{m}^3$ で2,121円です。

## 8 生活排水対策

(協議会) 大洲市は浄化槽の補助は個人設置型でやっていますが、市町村設置型の方が個人負担も少なくて済むし、行政が責任を取れるし、下水道と同じように使用料で出来るので良いと思いますがどうですか？

(大洲市) 大洲市は、現在の個人設置型で将来も対応したい。

(協議会) 浄化槽は下水道に比べて3分の1以下の予算で出来ます。是非とも市町村設置型でやってほしいです。

(大洲市) 先にお答えしたとおり、個人設置型で対応し、設置者に対し補助金を交付していきたい。

(協議会) 下水道の全体計画の中で、新谷地区の中止を含めた計画の見直しは考えていませんか。

(大洲市) 公共下水道の計画見直しの考え方はよく理解出来るし、変更の可能性はありますが、現在は、人口フレームの変更を考えています。  
また、市としては、市街地は公共下水道、周辺地域は合併処理浄化槽という2本立てで対応し、公共用水域の水質保全と市民生活の環境整備に努力したいと考えています。今後も引き続き環境保全にご理解ご協力をお願いいたします。

16:30 終了